

化学物質等安全データシート (MSDS)

1. 化学物質等及び会社情報

化学物質等の名称 ; アンカー 1127-L
 M S D S コード ; 19185
 推奨用途 ; 表面処理薬品
 供給者 ; メルテックス株式会社
 住所 ; 東京都中央区東日本橋2-28-5
 問い合わせ先 ; 企画部 品質保証課
 電話番号 ; 048-665-2050
 E-Mail ; sales@meltex.co.jp

2. 危険有害性の要約

GHS分類

引火性液体	分類できない	
酸化性液体	分類できない	
酸化性固体	分類できない	
金属腐食性物質	分類できない	
急性毒性	経口	分類できない
	経皮	分類できない
	吸入(蒸気)	分類できない
	吸入(ミスト)	分類できない
皮膚腐食性・刺激性	区分1A	
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	区分1	
呼吸器感作性	区分1	
皮膚感作性	区分1	
生殖細胞変異原性	区分2	
発がん性	区分1A	
生殖毒性	分類できない	
特定標的臓器・全身毒性(単回)	分類できない	
特定標的臓器・全身毒性(反復)	区分1(呼吸器)	
水生環境有害性	急性;分類できない/慢性;分類できない	
その他		

GHSラベル要素

注意喚起語

危険



危険有害性情報

重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷
 重篤な眼の損傷
 吸入するとアレルギー、喘息または呼吸困難を起こすおそれ
 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
 遺伝性疾患のおそれの疑い
 発がんのおそれ
 長期ないし反復暴露による臓器(呼吸器)の障害

注意書き

使用前に製品安全データシート(MSDS)を必ず読むこと。
 推奨用途／推奨条件での使用を原則とすること。
 保護手袋、保護眼鏡など適切な保護具を着用し取り扱うこと。
 被災した場合はMSDS等を参考に救急処置し、状況を医師に連絡すること。
 眼、皮膚などに付着した場合は速やかに多量の清流水で洗い流すこと。
 吸入した場合は新鮮な空気のある場所に移し、呼吸しやすい姿勢にすること。
 救急処置後は直ちに医師の診断／手当を受けること。
 直射日光を避け、屋内の涼しく、換気の良い場所で保管すること。
 保管の際は国内の法令、条例等を遵守すること。
 内容物や容器は国内の法令、条例等を遵守し、廃棄すること。
 廃棄物処理を業務委託する場合は公の許可を受けた専門業者に委託すること。

3. 組成・成分情報

単一／混合の区分 ; 混合物

成分名	濃度(wt%)	官報公示整理番号	CAS番号
無水クロム酸	36 (Crとして; 19)	1-284	1333-82-0
安定剤	<1	-	-
水	60<<70	-	7732-18-5

4. 応急措置**吸入した場合**

直ちに患者を新鮮な空気のある場所に移し、安静、保温に努め、すみやかに医師の手当を受ける。
 呼吸が停止又は殆ど停止状態の場合は衣類をゆるめ、人工呼吸を行う。

皮膚に付着した場合

汚染された衣服を脱がせる。多量の水かシャワーで皮膚を洗い流す。
 有意の炎症がみられる場合は医師の診察を受ける。

眼に入った場合

できるだけ速く、清浄な流水で最低15分間洗い続ける。無理なく外せるならコンタクトレンズは外す。眼瞼をつまみ上げるようにして結膜円蓋をよく洗う。

中和をしてはいけない。

必ず、眼科医の診察を受ける。

飲み込んだ場合

無理に吐かせてはならない。直ちに口の中を水でよく洗わせたと後すみやかに医師の手当を受ける。

意識喪失の場合は水を飲ませてはならない。又、吐かせようとしてはならない。

5. 火災時の措置

消火剤

棒状の水、霧状の水、二酸化炭素消火剤、泡消火剤、粉末消火剤、乾燥砂が有効である。

特定の危険有害性

燃焼または加熱分解により、金属フュームが発生する恐れがある。

特定の消火方法

火災発生場所の周辺に関係者以外の立ち入りを禁止する。

消火作業の際には必ず保護具を着用する。

周辺火災において製品が移動可能な場合は、速やかに火災の影響が及ばない場所に移す。又、移動できない場合は周囲の設備や容器に散水冷却して、容器の熱破損、着火を防止する。

当該製品及び製品を含む消火液が漏出、飛散しないように必要な措置を講ずる。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項

漏洩場所から関係者以外の人を退避させる。

換気をよくする。

漏れた又はこぼれた製品の処理は保護具を着用する。

大量に漏洩又は災害の発生する恐れのある場合は直ちに関係箇所に通報し、事故防止に努める。

気分が悪い場合は直ちに医師の診断を受ける。

環境に対する注意事項

漏出物を環境に放出しない。

大量に漏洩した場合は下水、排水溝、低地への流出を防止する。

回収・中和

漏れた又はこぼれた製品を密閉式(又はふた付き)容器に出来る限り回収し、次に残留液(又は残留物)を乾燥砂などの不活性吸収物質に吸収させて安全な場所に移す。

7. 取り扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策;

保護具を着用する。

注意事項;

局部排気或いは全体換気を行う。

少量ずつ取り扱い、漏れ・あふれ・飛散、粉塵の発生を防止する。

取扱い後は手洗い及びうがいを十分に行う。

安全取扱い注意事項;

作業場への関係者以外の人立ち入りを禁止する。

使用済みの空容器は必ず洗浄し、洗浄液は排水等に流出させない。

水を注いではならない。

希釈するときには必ず水の中にゆっくり加える。

保管**技術的対策;**

好ましくは二段重ねを限度とし、転倒及び落下防止をする。
使用残は容器に破損、腐食、さけめ等がないことを確認して保管する。

保管条件;

直射日光を避け、適切な温度及び通気性の良い(又は換気可能な)屋内貯蔵所で保管する。
法規に準拠して、保管する。

混触禁止物質;

アルカリ性物質、還元剤、有機物及び他の危険性を有するものと離して(好ましくは1m以上)保管する。

容器包装材料(推奨);

当製品と同一の容器包装材料及び表示。

8. 暴露防止及び保護措置**設備対策**

全体換気装置を設置する。
取扱場所付近に洗眼設備及びうがい設備を設置する。
局所排気装置及び排気処理装置を設置する。

管理濃度

無水クロム酸・・・0.05ppm(Crとして)

許容濃度**暴露限界値;**

無水クロム酸・・・0.05mg/m³ (Cr6+として) (日本産業衛生学会 2008年)
無水クロム酸・・・TWA 0.05mg/m³ / STEL -(Cr6+として) (ACGIH, 2008年)

保護具

就業する労働者の人数と同数以上を備え、常に有効かつ清潔に保持する。
保護帽、呼吸用保護具、顔面保護面、不浸透性保護衣、保護手袋、ゴム長靴を着用する。

* 管理濃度、許容濃度は各有害成分の単一物質に対するもので、管理濃度が労働安全衛生法に基づく作業環境評価基準、暴露限界値が日本産業衛生学会による勧告、及びACGIH勧告によるものである。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状態	液体
色	赤褐色
臭い	微臭
pH(当社測定値)	強酸性
密度(当社測定値)	1.3(g/cm ³)
溶解度(水に対する溶解性)	水溶性
引火点(当社測定値)	適応外
爆発性	通常取り扱い条件下では爆発しない。
融点・凝固点/沸点・初留点 及び沸騰範囲	未測定
n-オクタノール/水分配係数	未測定
自然発火温度・分解温度	未測定
蒸気圧・蒸気密度	未測定

10. 安定性及び反応性

(5/7)

安定性

通常の取り扱い条件下で安定である。

特定の条件下で生じる危険な反応

アルカリ性物質と激しく反応する。

11. 有害性情報

急性毒性

無水クロム酸…50mg/kg(Oral-rat)

感作性

無水クロム酸…皮膚 第2群 / 気道 第1群 (Crとして)

発がん性

情報を得ていない。

生殖毒性

情報を得ていない。

12. 環境影響情報

COD値(当社測定値) ; 未測定

BOD値(当社測定値) ; 未測定

生態毒性

情報を得ていない。

生体蓄積性

情報を得ていない。

土壤中の移動性

情報を得ていない。

残留性/分解性 * 化審法に基づく試験方法による結果

無水クロム酸…低濃縮性

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物

取り扱い及び保管上の注意の項に留意し、国内の法令並びに条例を遵守し処分する。

1wt%以下の水溶液とし、他の廃液との混合を避け、廃水処理をする。

専門業者に廃棄処分を委託することが好ましい。

製品が付着している容器・包装

製品が付着している容器・包装はよく洗浄し、リサイクル又は廃棄処分する。

洗浄に使用した液は取り扱い及び保管上の注意の項に留意し、国内の法令並びに条例を遵守し処分する。

14. 輸送上の注意

注意事項

容器が著しく摩擦又は動揺を起こさないように運搬する。
 転倒、荷崩れ、転落、破損等がないように確実に積載する。
 容器は収納口を上方に向けて積載する。
 取扱い及び保管上の注意の項を留意する。
 道路交通法等の輸送に関する法規を遵守する。

国際法規(国連分類・番号)

IMDG Code * 1) ; クラス 8(腐食性物質) / UN 1755(容器等級; 2)
 IATA-DGR * 2) ; クラス 8(腐食性物質) / UN 1755(容器等級; 2)

* 1) 国際海上危険物規則 * 2) 国際航空運送協会危険物規則

15. 適用法令

労働安全衛生法 表示対象物	無水クロム酸
労働安全衛生法 通知対象物	無水クロム酸
労働安全衛生法 特化則 特定化学物質	第二類物質; 無水クロム酸
労働安全衛生法 有機則 有機溶剤等	非該当
化学物質審査規制法(化審法) 特定・監視化学物質	非該当
消防法 危険物	非該当
毒物及び劇物取締法 毒物・劇物	劇物
船舶安全法 危険物船舶運送及び貯蔵規則 危険物	クラス 8(腐食性物質)
航空法 航空法施行規則 危険物	クラス 8(腐食性物質)
輸出貿易管理令 別表1(16項除く)	非該当
輸出貿易管理令 別表2	非該当
水質汚濁防止法 有害物質	無水クロム酸
廃棄物の処理及び清掃に関する法律 特別管理産業廃棄物	無水クロム酸
化学物質排出把握管理促進法(PRTR法) 指定化学物質	第一種指定化学物質; 無水クロム酸(政令番号88)

16. その他の情報

(7/7)

参考文献等

- 1) 関係法令類
- 2) 化学防災指針集成／日本化学会編／丸善(株)
- 3) 「化学物質安全性データブック」／化学物質安全情報研究会 編
- 4) 産業衛生化学雑誌／(社)日本産業衛生学会
- 5) 国際化学物質安全性カード(ICSC)コンパイラーズガイド日本語版／国立衛生試験所化学物質情報部 監修／化学工業日報社
- 6) EU 危険な物質の分類等に関する理事会指令67/548/EECの付属書Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ、Ⅸ／(社)日本化学物質安全・情報センター
- 7) EU 危険な物質リスト(第4版)／(社)日本化学物質安全・情報センター
- 8) DANGEROUS PROPERTIES of INDUSTRIAL MATERIALS／N. Irving Sax
- 9) THE MERKINDEX *12TH EDITION/MERCK RESEARCH Labs.
- 10) HANDBOOK OF ENVIRONMENTAL DATA ON ORGANIC CHEMICALS 3RD EDITION/VERCHUEREN/WILEY
- 11) 化学物質ハザード・データ集／(財)化学品検査協会編／(第一法規)
- 12) 化学物質毒性ハンドブック(Ⅰ～Ⅵ)／G.D.Clayton,F.E.Clayton編／丸善. WILEY
- 13) 化学物質管理促進法対象物質全データ／化学工業日報社
- 14) 産業中毒便覧(増補版)／後藤 稠、池波 正之、原 一郎 編／医歯薬出版

本製品は金属材料等の表面処理を目的とした工業用製品です。このMSDSは現段階で知り得る情報を基に作成しています。記載データや評価は必ずしも安全・衛生を十分に保証するものではありません。お取扱いの際は取扱い者の責任において安全・衛生の対策を設定して頂きますようお願い致します。